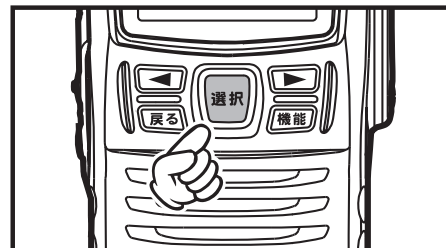


- ① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら、電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択”ボタンを放します。



- ② ロータリースイッチをまわして“コールモード”を選択します。
- ③ “選択”ボタンを押します。

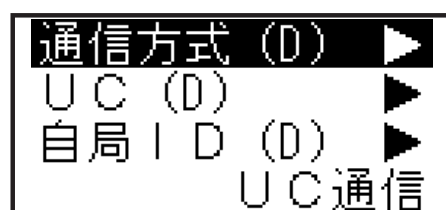
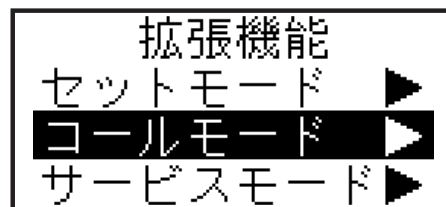
補足

○ パスワードの入力画面が表示された場合、コールモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

○ パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。

1. ロータリースイッチで数字を選択します。
2. ◀/▶ ボタンで桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。
3. 入力が終わったら“選択”ボタンで決定します。
4. 正しいパスワードが入力されると、コールモードの画面が表示されます。

- ④ ロータリースイッチをまわして、設定したい項目を選択します。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。
- ⑥ ロータリースイッチをまわして、設定値を変更します。
- ⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



C01 通信方式 (D) ～デジタル通信で使用する設定です～

UC 通信と個別通信を切り換えることができます。

① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“通信方式 (D)” の表示にあわせませす。

現在の通信方式が表示されます。

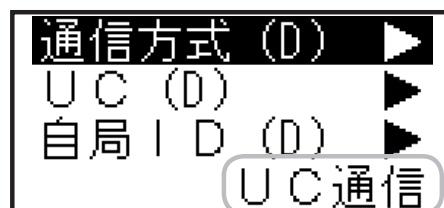
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の通信方式を選択します。

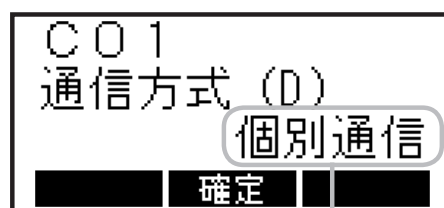
“UC 通信”：デジタル UC 通信方式で運用するとき。

“個別通信”：デジタル個別通信方式で運用するとき。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の通信方式



通信方式

C02 UC(D) ～デジタル UC 通信で使用する設定です～

UC(ユーザーコード)を変更することができます。

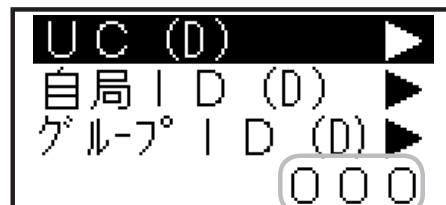
① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② 回転リースイッチをまわして、“UC(D)”の表示にあわせませす。

現在のユーザーコードが表示されます。

注意

- ユーザーコードの代わりに“CH”が表示される場合は、すでにチャンネルごとにユーザーコードが設定されており、変更することができません。
- 現在の値が表示されていても、次の③の操作にて“選択”ボタンを押しても値が変更できない場合は、販売店によりユーザーコードの変更が禁止された状態になっています。これらの状態でユーザーコードの変更が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



現在のユーザーコード



ユーザーコード

③ “選択” ボタンを押します。

ユーザーコードの百の桁で、カーソルが点滅します。

④ 回転リースイッチをまわして、希望の数字を選択します。

注意

- 設定できるユーザーコードは“000”～“511”です(512以上の数字にあわせることはできませんが、設定することはできません)。
- ユーザーコードの“000”は、特別なユーザーコードとして扱われ、受信時は、ユーザーコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか、通信することができません。

⑤ ▶ ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動します。

◀ ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3桁のユーザーコードを設定します。

⑦ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。

C03 自局 ID(D) ～デジタル個別通信で使用する設定です～

無線機に設定されている自局の ID を変更することができます。

- ① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“自局 ID(D)” の表示にあわせます。
現在の自局 ID が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。



- あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
- 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。



現在の自局 ID



自局 ID

C04 グループID(D) ～デジタル個別通信で使用する設定です～

無線機に設定されているグループIDを変更することができます。

① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“グループID(D)”の表示にあわせませす。

現在のグループIDが表示されます。

補足

現在のグループIDに“ALL”が表示されている場合は、販売店により複数のグループIDが登録されています。変更が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

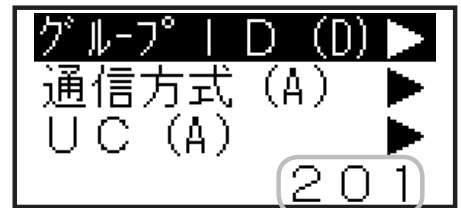
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望のIDを選択します。

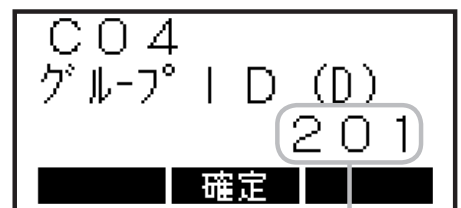
注意

- あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。
- 登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。



現在のグループID



グループID

C05 通信方式(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

呼び出し方式を切り換えることができます。

① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“通信方式(A)”の表示にあわせませす。

現在の呼び出し方式が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の呼び出し方式を選択します。

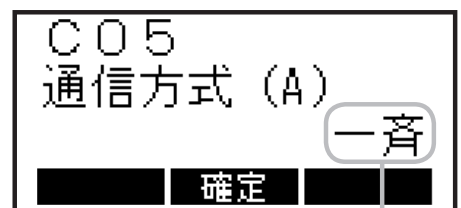
“一斉” : 同じトーンを設定した局を呼び出すことができる“トーン”方式で運用するとき。

“セレコール” : 指定した相手局を呼び出すことができる“セレコール”方式で運用するとき。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の呼び出し方式

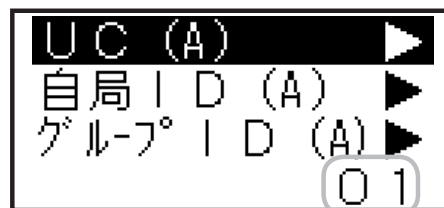


呼び出し方式

C06 UC(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

アナログ個別通信用の UC(ユーザーコード)を変更することができます。

- ① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“UC(A)”の表示にあわせます。
現在のユーザーコードが表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
ユーザーコードの十の桁で、カーソルが点滅します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。
設定できるユーザーコードは“00”～“99”です。
- ⑤ ▶ ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動します。
◀ ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。
- ⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、ユーザーコードを設定します。
- ⑦ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在のユーザーコード



ユーザーコード

C07 自局 ID(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

無線機に設定されている、自局のアナログ通信用 ID を変更することができます。

- ① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“自局 ID(A)” の表示にあわせます。
現在の自局 ID が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。

補足

- 設定できる ID は、“01” ～ “80” です。
 - あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
 - 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の自局 ID



自局 ID

C08 グループID(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

無線機に設定されている、アナログ通信用のグループIDを変更することができます。

- ① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“グループID(A)” の表示にあわせませす。
現在のグループIDが表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。

補足

- 設定できるIDは、“81”～“98”です。
 - あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。
 - 登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在のグループID

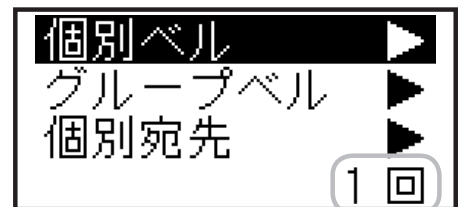


グループID

C09 個別ベル

個別呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“個別ベル” の表示にあわせませす。
現在の電子音が鳴る回数が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の回数を選択します。
設定できる回数は“0”～“5”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数

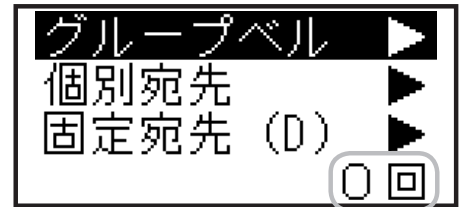


電子音が鳴る回数

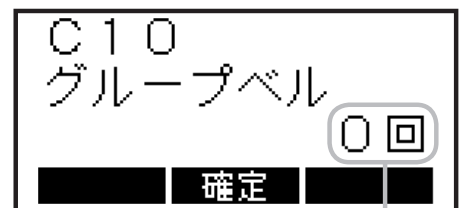
C10 グループベル

グループ / 一斉呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“グループベル” の表示にあわせませす。
現在の電子音が鳴る回数が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の回数を選択します。
設定できる回数は“0” ～ “3” です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数

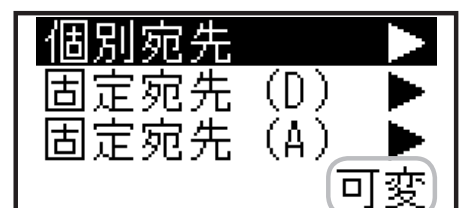


電子音が鳴る回数

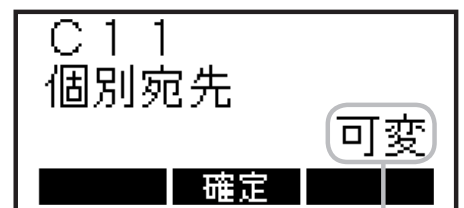
C11 個別宛先 ～デジタル個別通信で使用する設定です～

応答待ち時間（通話タイマー）が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件を設定することができます。

- ① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“個別宛先” の表示にあわせませす。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の表示方法を選択します。
“可変”：直前の通話で設定した呼び出し先の ID を表示します。
“固定”：あらかじめ設定している（C12 固定宛先で設定）呼び出し先の ID 表示に変わります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

C12 固定宛先 (D) ～デジタル個別通信で使用する設定です～

デジタル個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“固定宛先 (D)” の表示にあわせます。

現在設定されている ID が表示されます。

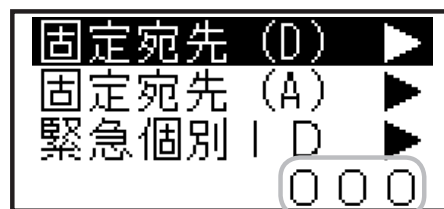
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。

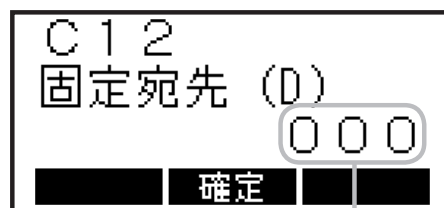
補足

- 設定できる ID は “000” ～ “230” です。
- あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
- 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の固定宛先 ID

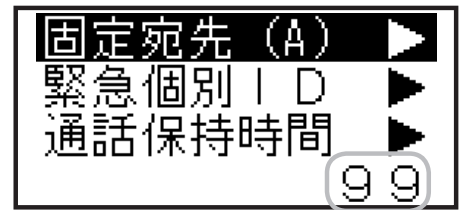


固定宛先 ID

C13 固定宛先 (A) ～アナログ個別通信で使用する設定です～

アナログ個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

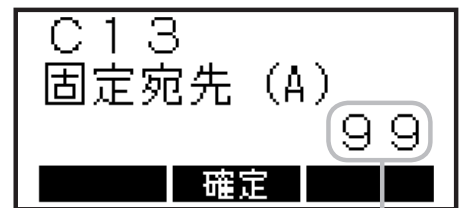
- ① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② □-ロータリースイッチをまわして、“固定宛先 (A)” の表示にあわせます。
 - 現在設定されている ID が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ □-ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。



現在の固定宛先

補足

- 設定できる ID は、“01” ～ “99” です。
 - あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
 - 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



固定宛先

C14 緊急個別 ID ～デジタル個別通信で使用する設定です～

出荷時の設定は、同一ユーザーの全員に緊急を知らせる“緊急一斉”に設定されていますので、本設定を行うことはできません。

緊急を知らせたい相手局の ID を変更できる“緊急個別”方式への変更は、お買い上げの販売店にご相談ください。

◎ 緊急一斉

同じユーザーの全ての局に対し、一斉に緊急を知らせることができます。

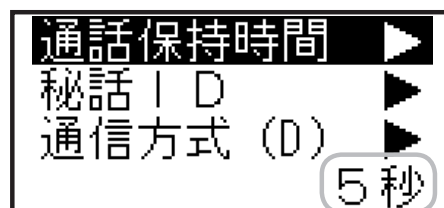
◎ 緊急個別

特定の相手局にだけ、緊急を知らせることができます。

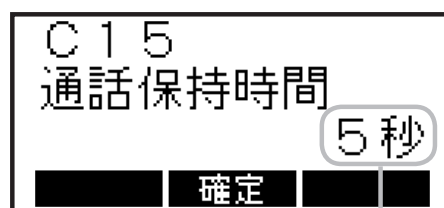
C15 通話保持時間

応答待ち時間（通話タイマー）の時間を設定することができます。

- ① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“通話保持時間”の表示にあわせませす。
現在の設定時間が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望する応答待ち時間を選択します。
設定できる時間は“5 秒”、“10 秒”、“15 秒”、“30 秒”、“60 秒”、“CONT”（連続）です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定時間



設定時間

C16 秘話 ID ～デジタル通信で使用する設定です～

秘話通信機能の動作を、ON/OFF することができます。

秘話通信機能を使用するには、あらかじめ秘話コードを設定しておく必要があります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

① 33 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② □-ロータリースイッチをまわして、“秘話 ID” の表示にあわせませ

ます。現在の設定が表示されます。



“ALL OFF” が表示される場合は、秘話機能の使用が禁止されていますので、設定を行うことはできません。

③ “選択” ボタンを押します。

④ □-ロータリースイッチをまわして、秘話通信機能の OFF または秘話コードを選択します。

“\$01 ～ \$20”：設定した秘話コードで秘話機能が動作します。

“OFF”：秘話通信機能がオフになります。

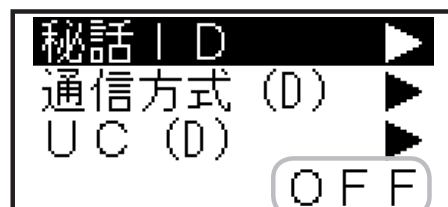
⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

補足

- 秘話通信機能が動作しているときは、ディスプレイに“秘”が点灯します。
- 秘話信号を受信すると、LED ランプが青色で点滅します。
- 秘話通信機能が動作しているときに送信すると、LED ランプが青色で点灯します。

注意

- 交信したい相手の無線機にも、同じ秘話コードが設定されていないと、交信することはできません。
- お互いの秘話コードが異なる場合は、相手の音声を電氣的に秘話処理した電子音が聞こえるだけで、通話内容を正しく聞き取ることができません。



現在の設定



設定

拡張機能 ～セットモード～

本機に内蔵された、各機能の設定（20項目）をおこなうことができます。

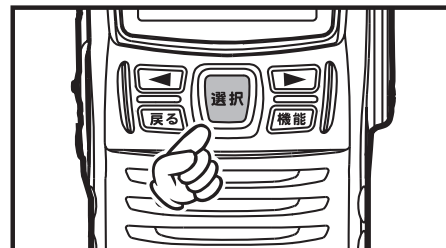
項目	初期値	設定値	機能
F01 ビープレベル	08	00 ~ 15	操作音（ビープ音）の音量設定
F02 外部マイク	0	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	外部マイクの感度設定
F03 内部マイク	0	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	内部マイクの感度設定
F04 ロータリー	チャンネル	チャンネル /ID	ロータリースイッチの動作設定
F05 キーロック	前面	PTT/ 前面 / 上部 / 全て / 前面+上部	キーロックの動作設定
F06 緊急モード	BP	BP/T/S/BP+T/OFF	緊急モードの動作設定
F07 TX ビープ	OFF	ON/OFF	送信開始時の電子音設定
F08 RX ビープ	OFF	ON/OFF	相手局の送信終了音の設定
F09 スケルチ	04	00 ~ 12	スケルチレベルの設定
F10 ローンワーカー	OFF	ON/OFF	PTT 無操作で 60 分経過すると自動的に緊急モードになる動作設定
F11 ノイズキャンセル	ON	ON/OFF	ノイズキャンセル機能の設定
F12 通話モード	デュアル	デュアル / アナログ デジタル	通信モードの選択
F13 送信出力制限	High 有効	High 有効 / Low 固定 受信専用	送信出力の設定
F14 弱電界アラーム	OFF	ON/OFF	受信信号が極端に弱い場合に鳴るアラームの設定
F15 不在着信ベル	OFF	OFF/5 秒毎 × 2 2 秒毎/1 分毎/ 連続	個別着信時に応答しなかった場合に鳴るベルの設定
F16 アンサーバック	OFF	ON/OFF	相手局に電波が届いているかを確認する機能の設定 ※ (D)
F17 電池残量表示	リチウム	リチウム / アルカリ	使用する電池の種類を選択
F18 ACC 電源	ON	ON/OFF	オプションのユニット（GPS ユニットなど）への電源供給の設定
F19 GPS モード	ポーリング	ポーリング / 定期送信	GPS による自局の位置情報送出条件の設定
F20 設定リセット	—	—	拡張機能の設定を初期値（御購入時の状態）に戻します

※ (D) : デジタル個別通信時に有効な設定項目

セットモードの基本的な操作方法を右ページに記します。

各項目の具体的な操作方法は、48 ページ以降を参照してください。

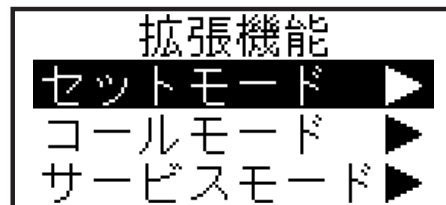
- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら、電源を入れます。
拡張機能の選択画面が表示されます。



- ② ロータリースイッチをまわして“セットモード”を選択します。
- ③ “選択” ボタンを押します。

補足

- パスワードの入力画面が表示された場合、セットモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。
 1. ロータリースイッチで数字を選択します。
 2. ◀/▶ ボタンで桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。
 3. 入力が終わったら“選択” ボタンで決定します。
 4. 正しいパスワードが入力されると、セットモードの画面が表示されます。



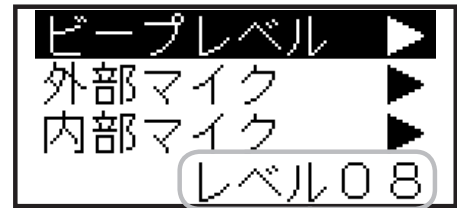
- ④ ロータリースイッチをまわして、設定したい項目を選択します。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
- ⑥ ロータリースイッチをまわして、設定値を変更します。
- ⑦ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



F01 ビープレベル

ボタンやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“ビープレベル”の表示にあわせませす。
現在の音量レベルが表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の音量を選択します。
設定できる音量レベルは“00”～“15”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の音量レベル



音量レベル

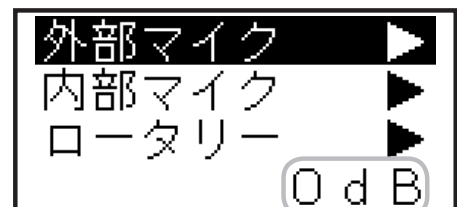
F02 外部マイク

外部マイク口ホンのマイク感度を設定することができます。

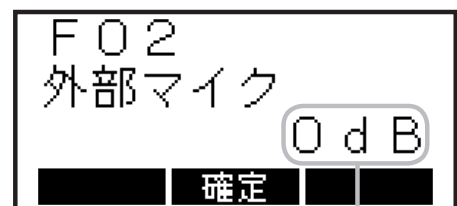
- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“外部マイク”の表示にあわせませす。
現在のマイク感度が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の感度を選択します。
マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在のマイク感度



マイク感度

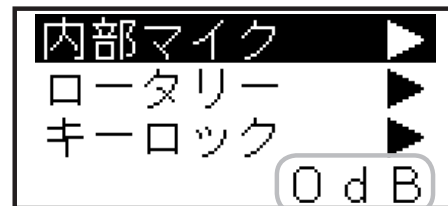
F03 内部マイク

マイク感度を設定することができます。

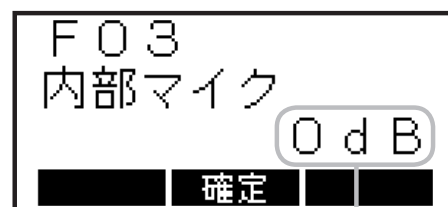
- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“内部マイク”の表示にあわせませす。
現在のマイク感度が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の感度を選択します。
マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在のマイク感度

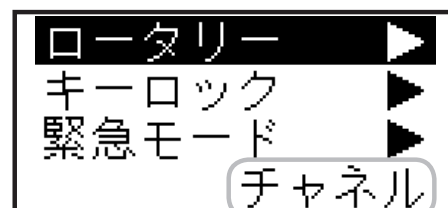


マイク感度

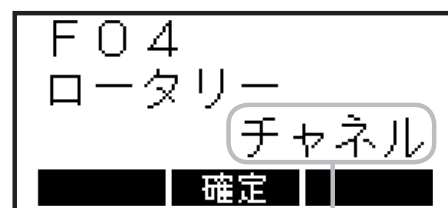
F04 ロータリー

ロータリースイッチの動作を変更することができます。

- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“ロータリー”の表示にあわせませす。
現在の動作が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の動作を選択します。
“チャンネル”：ロータリースイッチをまわすと、運用チャンネルが変わります。
“ID”：ロータリースイッチをまわすと、呼び出し先IDが変わります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作



動作

F05 キーロック

ロック機能を動作させたときの、ロックさせる条件を設定することができます。

① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“キーロック”の表示にあわせます。

現在の動作が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望のロック範囲を選択します。



現在の設定

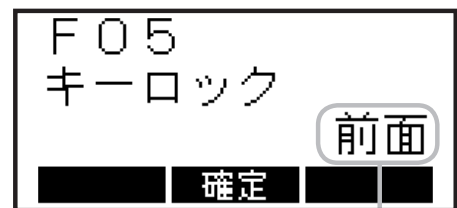
“前面”：無線機前面にあるボタンがロックされます。

“上部”：ロータリースイッチがロックされます。

“全て”：ロータリースイッチ、無線機前面にあるボタン、PTTスイッチがロックされます。

“前面+上部”：ロータリースイッチと無線機前面にあるボタンがロックされます。

“PTT”：PTTスイッチがロックされます。



設定

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

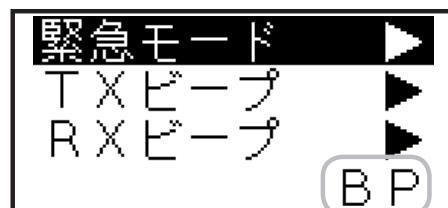
補足

- 本機を“受信専用機”として使用する場合は、送信操作を禁止するために“PTT”に設定してください。
- モニターボタン、ロックボタン、緊急ボタンはロックされません。

F06 緊急モード

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“緊急モード”の表示にあわせます。
現在の動作が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の動作を選択します。



現在の動作

“BP” : 無線機のスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。

“T” : 自局のIDを含んだ緊急信号を送出します。また、デジタルチャンネルの場合は、緊急動作中にPTTボタン（通話ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

※ この設定は、個別通信時のみ動作いたします。

“S” : サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLEDは緊急動作中も変化しません。また、デジタルチャンネルの場合は、緊急動作中にPTTボタン（通話ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

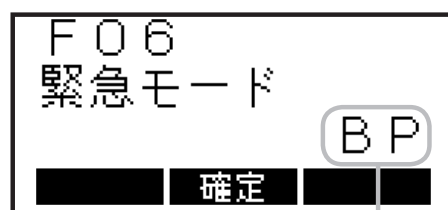
※ この設定は、デジタル個別通信時のみ動作いたします。

“BP+T” : 上記“T”の動作を行った後、“BP”の動作を行います。

※ この設定は、アナログ一斉通信時および、デジタルUC通信時には“BP”の動作を行います。

“OFF” : 緊急アラーム機能は動作しません。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



動作

F07 TX ビープ

送信開始時に、通話ができる状態になったことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“TX ビープ” の表示にあわせませす。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、TX ビープのオン/オフを選択します。
“ON”：TX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。
“OFF”：TX ビープの動作がオフになります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



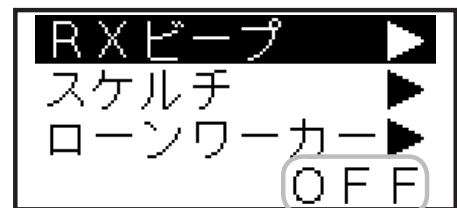
設定

F08 RX ビープ ～デジタル通信で使用する機能です～

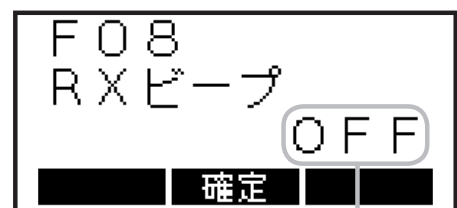
受信中の通話が終了したことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

デジタル個別通信時または、“000” 以外の同じユーザーコードに設定してある相手局の信号を受信した時のみ動作します。

- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“RX ビープ” の表示にあわせませす。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、RX ビープの ON/OFF を選択します。
“ON”：RX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。
“OFF”：RX ビープの動作がオフになります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F09 スケルチ ～アナログ通信で使用する機能です～

信号を受信していない時の耳障りなノイズを消す“スケルチ回路”のレベルを設定することができます。

① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② 回転リースイッチをまわして、“スケルチ”の表示にあわせます。

現在のスケルチレベルが表示されます。

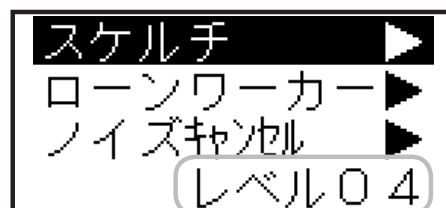
③ “選択” ボタンを押します。

④ 回転リースイッチをまわして、希望のレベルを選択します。

補足

- 設定できるレベルは“00”～“12”です。
- “00”に設定すると、アナログ通信方式では、常に“ザー”というノイズが聞こえる状態になります。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在のスケルチレベル



スケルチレベル

F10 ローンワーカー

60 分の間、本機の送信 (PTT) ボタンが操作されない場合、自動的に緊急モードになるローンワーカー機能が動作します。

定期連絡が途絶えた場合などに、自動的に緊急を知らせることができる便利な機能です。

操作及び動作は 22 ページを参照してください。

① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② 回転リースイッチをまわして、“ローンワーカー”の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

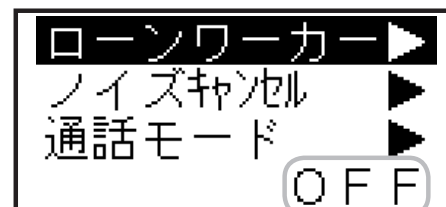
③ “選択” ボタンを押します。

④ 回転リースイッチをまわして、ローンワーカーの ON/OFF を選択します。

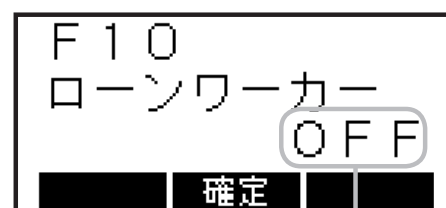
ON : ローンワーカー機能が ON になります。

OFF : ローンワーカー機能が OFF になります。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F11 ノイズキャンセル機能 ～デジタル通信で使用する機能です～

周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信する「ノイズキャンセル機能」をON/OFFすることができます。

① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“ノイズキャンセル”の表示にあわせませす。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、ノイズキャンセル機能のON/OFFを選択します。

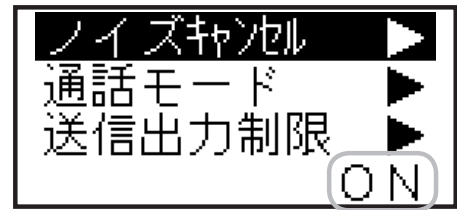
“ON”：ノイズキャンセル機能が動作します。

“OFF”：ノイズキャンセル機能がオフになります。

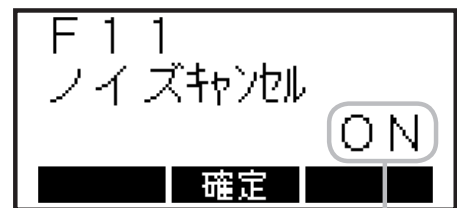
補足

ノイズキャンセル機能を“ON”にする際は、“F02 外部マイク”および“F03 内部マイク”の設定を“0dB”以下にしてください。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F12 通話モード

本機で利用できる通信方式（アナログ通信とデジタル通信）を設定することができます。利用できる通信方式は、免許内容により異なりますので、詳しくは、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“通話モード”の表示にあわせませす。

現在の動作が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

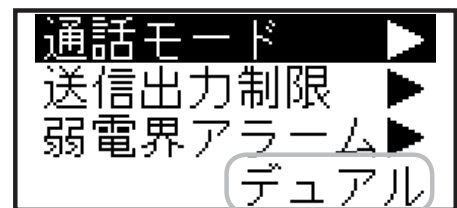
④ ロータリースイッチをまわして、希望の表示方法を選択します。

“デュアル”：デジタルとアナログ、両方の通信方式を利用することができます。

“デジタル”：デジタル通信方式のみ、利用することができます。

“アナログ”：アナログ通信方式のみ、利用することができます。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作



動作

F13 送信出力制限

送信出力（発射する電波の強さ）を“5W”と“1W”から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“1W”に、また、本機を受信専用機として使用する場合は“受信専用”に設定してください。

① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“送信出力制限”の表示にあわせませす。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。

“High 有効”：送信出力が 5W に設定されます。

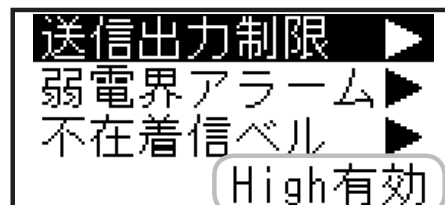
“Low 固定”：送信出力が 1W に設定されます。

“受信専用”：PTT ボタン（通話ボタン）を押しても、送信しなくなります。

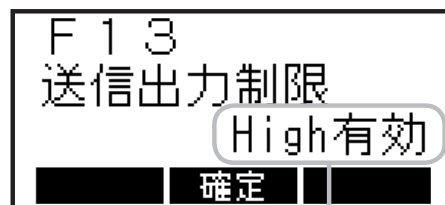
⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

補足

ご購入時の設定で、周波数ごとの送信出力設定が“Low”に設定されている場合は、上記の設定を“High 有効”にしても、実際の送信出力は“Low 固定”（1W）となります。



現在の設定



設定

F14 弱電界アラーム

受信している信号が、極端に弱くなったことを知らせるアラーム音を、ON/OFF することができます。

① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“弱電界アラーム”の表示にあわせませす。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、弱電界アラームの ON/OFF を選択します。

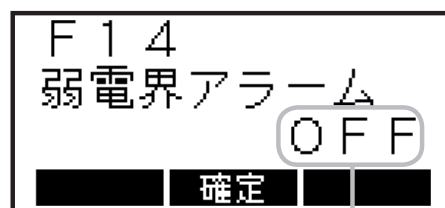
“ON”：受信信号が極端に弱くなると、アラーム音が鳴ります。

“OFF”：弱電界アラームの動作がオフになります。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F15 不在着信ベル

相手からの個別呼び出しを受けた後、応答しなかった場合、設定した条件でベル（電子音）を鳴らすことができます。

なお、“グループ呼び出し”や“一斉呼び出し”での着信の場合は、ベルは鳴りません。

① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“不在着信ベル”の表示にあわせませ

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。

“OFF” : 不在着信ベルの動作がオフになります。

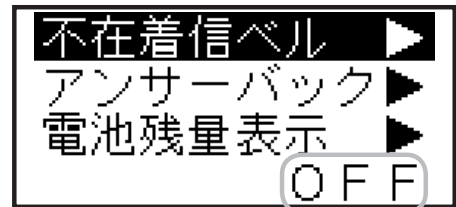
“5 秒毎×2” : 着信後、5 秒間経過するとベルが鳴り、更に 5 秒間経過すると再度ベルが鳴ります。

“2 秒毎” : 着信後 2 秒毎にベルが鳴ります。

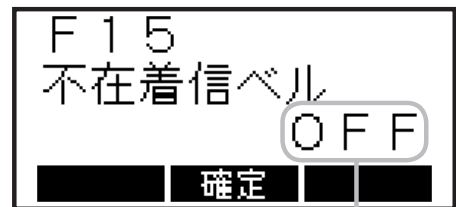
“1 分毎” : 着信後 1 分毎にベルが鳴ります。

“連続” : 着信するとベルが鳴り続けます。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F16 アンサーバック ~デジタル個別通信で使用する機能です~

アンサーバック機能を、ON/OFF することができます。

① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“アンサーバック”の表示にあわせませ

現在の設定が表示されます。

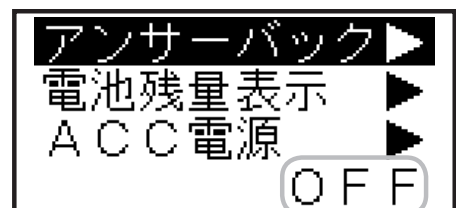
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、アンサーバックの ON/OFF を選択します。

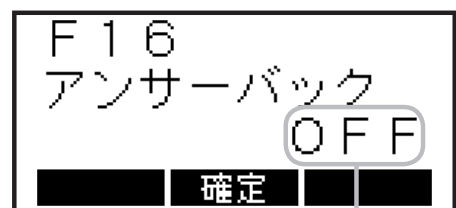
“ON” : アンサーバック機能が動作します。

“OFF” : アンサーバックの動作がオフになります。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

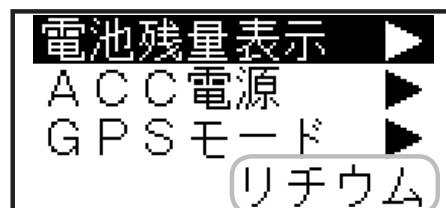


設定

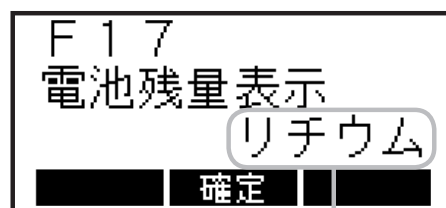
F17 電池残量表示

ディスプレイの“電池残量表示”の精度を上げるため、使用する電池の種類を設定してください。

- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“電池残量表示”の表示にあわせませす。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、使用する電池パックの種類にあわせませす。
“リチウム”：リチウムイオン電池パックを使用する際に選択します。
“アルカリ”：アルカリ電池を使用する際に選択します。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

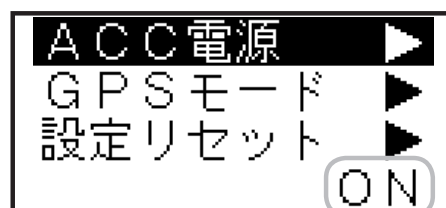


設定

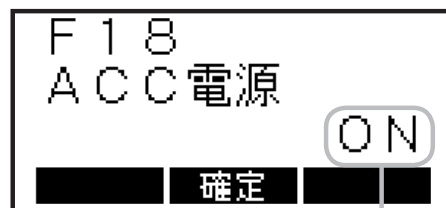
F18 ACC 電源

GPS ユニットなどのオプションユニットを装着した際、オプションユニットへの電源供給を ON/OFF することができます。

- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“ACC 電源”の表示にあわせませす。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、電源供給の ON/OFF を選択します。
“ON”：オプションユニットに電源を供給します。
“OFF”：オプションユニットへの電源供給は行いません。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F19 GPSモード

GPSによる、自分の位置情報の送出条件を設定します。なお、位置情報の送出には、オプションのGPSユニットが必要です。

① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“GPSモード”の表示にあわせませす。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。

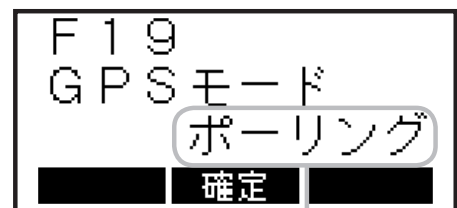
“ポーリング”：他の局から要求があったときのみ、自局の位置情報を送出します。

“定期送信”：一定時間ごとに、自局の位置情報を送出します。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F20 設定リセット

拡張機能の設定を、ご購入時の状態（販売店設定値）に戻すことができます。

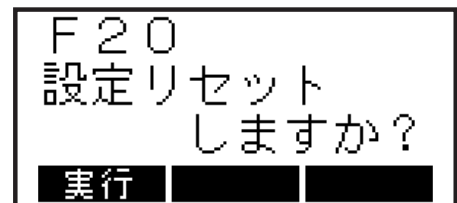
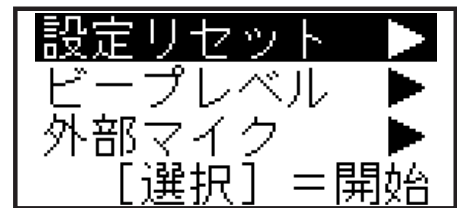
① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“設定リセット”の表示にあわせませす。

③ “選択” ボタンを押します。

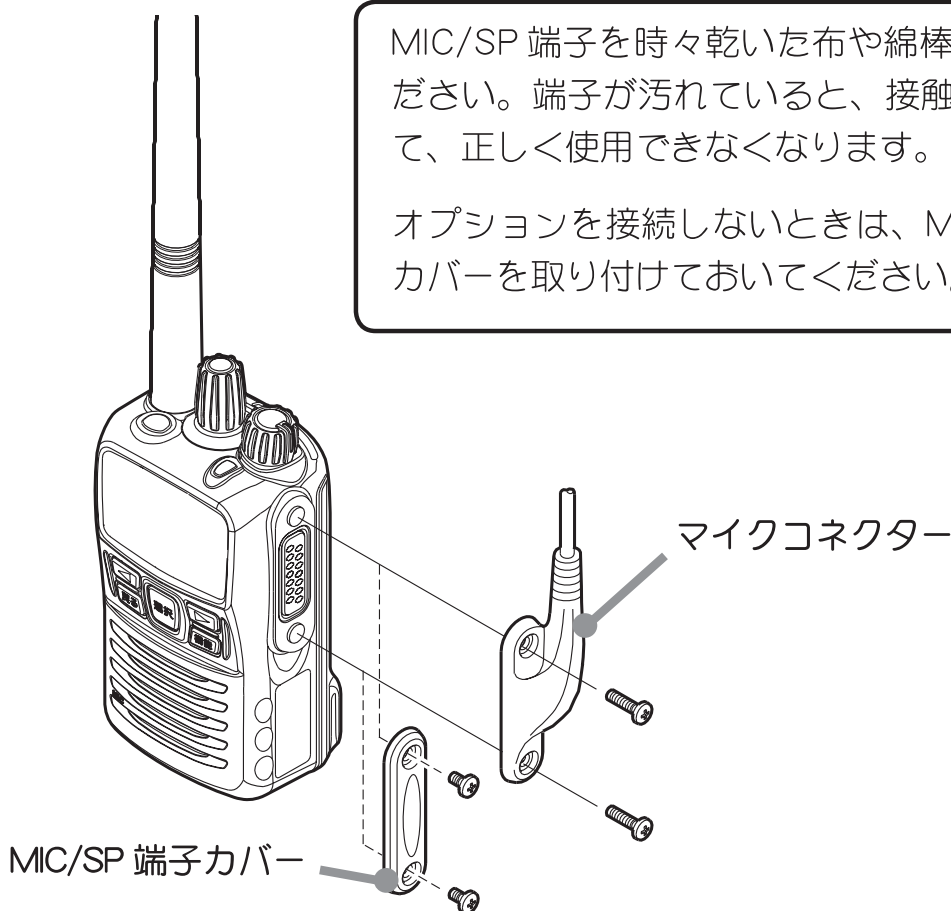
④ “◀” ボタンを押すと、設定がリセットされます。

リセットを中止する場合は、“戻る” ボタンを押してください。



オプションマイクの取り付け

MIC/SP 端子カバーのビスを外し、マイクコネクタに付属のビスで取り付けます。



MIC/SP 端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接触不良になって、正しく使用できなくなります。

オプションを接続しないときは、MIC/SP 端子カバーを取り付けておいてください。

オプションマイクの感度切り替え方法

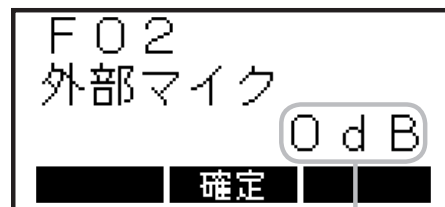
オプションマイクを使用した際に、マイク感度を調節することができます。

- ① 47 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“外部マイク”を表示させて、“選択”ボタンを押します。
- ③ ロータリースイッチで希望の感度を選びます。

マイクの感度は、下記の 8 段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” (標準) ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

- ④ “選択” ボタンを押します。
- ⑤ 電源を切ると設定は終了です。



マイク感度

キャリングケース“LCC-D450”の使いかた

LCC-D450は、“FNB-V86シリーズ”または“FNB-V87シリーズ”を装着したVXD450Vで使用することができます。

1. キャリングケース“LCC-D450”に、VXD450Vを入れます。

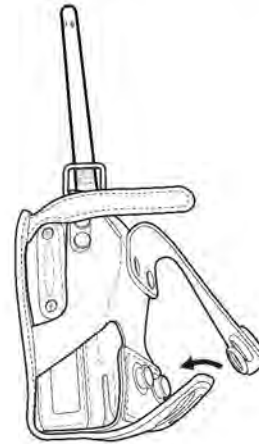
※ ホールド性を良くするために、若干きつく作られています。



2. 電池パックの角とキャリングケース背面カバーの折り目を合わせます。



3. キャリングケース前面カバーの穴を、背面カバーのボタンに通します。



注意

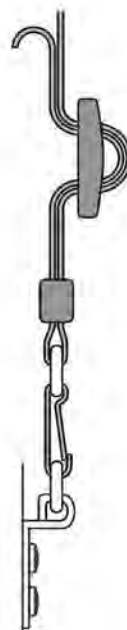
VXD450V 底面にある、ノイズキャンセリングマイク孔が塞がっていないことを確認してください。塞がっていると、ノイズキャンセルの効果を得られない場合があります。



4. ショルダーベルト取り付け金具を前方向に押し付けながら、マジックテープを金具の外側からしっかりととめてください。

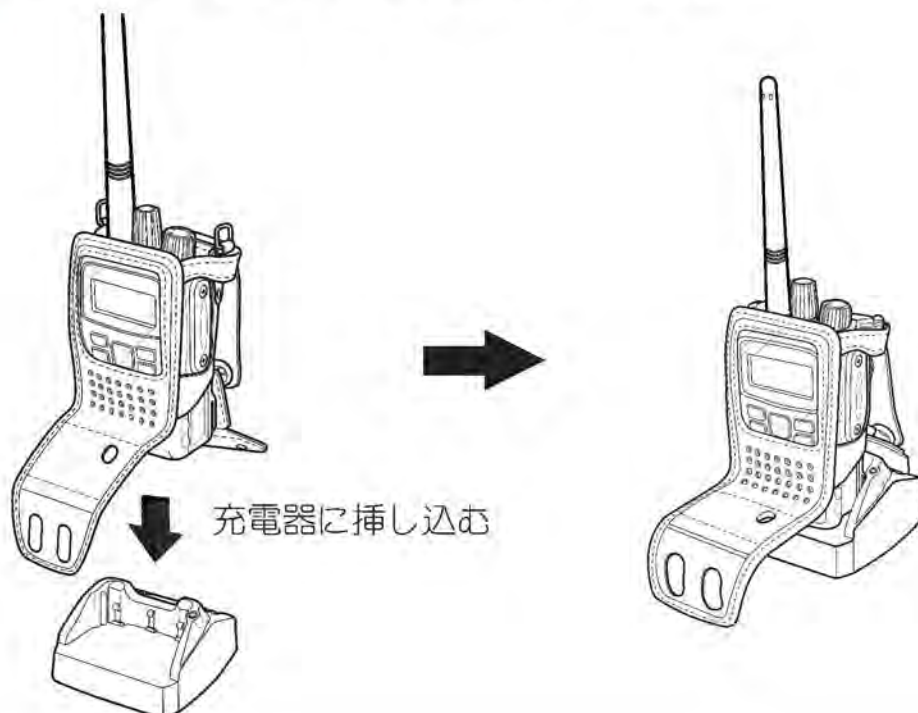


必要に応じて、キャリングケースの金具に、LCC-D450 に付属のショルダーベルトを取り付けます。



充電する際は、下図のようにキャリングケースの底面を開くだけで充電器にセットすることができます。

注意 背面カバーのボタンと充電器の端子をショートしないように注意してください。感電や充電器を破損することがあります。



故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？

修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない！

- ・ リチウムイオン電池パックまたはアルカリ乾電池が消耗していませんか？
 - ▶▶ リチウムイオン電池パック使用时
リチウムイオン電池パックを充電してください。
 - ▶▶ 乾電池ケース“FBA-34”使用时
新しいアルカリ乾電池に交換してください。
- ・ リチウムイオン電池パックまたは FBA-34 の端子が接触不良になっていませんか？
 - ▶▶ 端子を乾いた布で拭いてください。
- ・ リチウムイオン電池パックが古くなっていませんか？
 - ▶▶ リチウムイオン電池パックの寿命です。新しいリチウムイオン電池パックとお取り替えください。

◎ 送信できない！

- ・ PTT(通話) ボタンを正しく押していますか？
- ・ 送信出力の設定が“受信専用”になっていませんか？

◎ 通話できない！

- ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- ・ 相手局と同じ通信方式に設定していますか？
 - ▶▶ アナログ通信方式とデジタル通信方式間では、交信することはできません。
- ・ デジタル通信の場合、相手局と同じユーザーコードに設定していますか？
- ・ デジタル通信の場合、秘話通信機能が動作していませんか？
 - ▶▶ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください。

八重洲無線株式会社 国内営業部

〒 140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル

電話：03-6711-4055

定 格

一般

送 受 信 周 波 数	：	アナログチャンネル (20kHz 間隔、9波)	
		154.45MHz ~ 154.61MHz	
		デジタルチャンネル (6.25kHz 間隔、19波)	
		154.44375MHz ~ 154.55625MHz	
電 波 型 式	：	F3E(アナログ)、F1E(デジタル)	
通 信 方 式	：	単信(プレストーク)方式	
電 池 持 続 時 間	：	FNB-V86 シリーズ	約 8.5 時間
		FNB-V87 シリーズ	約 14.5 時間
		FNB-V92 シリーズ	約 19 時間
		(送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待ち受け 90 の繰り返し)	
電 源 電 圧	：	DC 7.4V ± 10%	
消 費 電 流	：	DC 7.4V	送信時(出力 5W 時) 約 1.4A
			受信待ち受け時 約 80mA
			受信定格出力時 約 350mA
温 湿 度 範 囲	：	温度 - 20℃ ~ + 60℃	
		湿度 95%(35℃)	
本 体 寸 法	：	56mm × 96mm × 39mm(FNB-V86LIA 使用時)	
本 体 重 量	：	約 305g(FNB-V86LIA, ベルトクリップ, アンテナを含む)	

※ RoHS 指令対応

送信部

空中線電力：5W/1W(+20%、-50%以内)
空中線インピーダンス：50Ω 不平衡
発振方式：水晶発振制御による周波数シンセサイザ方式
周波数許容偏差：±1.5ppm以内
変調方式：4値FSK(デジタル)
可変リアクタンス周波数変調(アナログ)
占有周波数帯域幅：5.8kHz以下(デジタル)
16kHz以下(アナログ)
最大周波数偏移：±1324Hz以内(デジタル)
±5.0kHz以内(アナログ)
隣接チャンネル漏洩電力：-52dB以下(デジタル、5W時)
-65dB以下(アナログ、5W時)
総合歪及び雑音：1kHz、70%変調にて20dB以上
スプリアス発射：2.5μW以下
不要輻射：2.5μW以下
標準変調入力：-44dBm±5dB(1kHz 60%変調)
変調入力インピーダンス：600Ω
変調周波数特性：アナログ 1kHzを基準として
0.3kHz -15dB±5dB
3kHz 6dB±5dB

受信部

受信方式：ダブルコンバージョンスーパーヘテロダイン方式
中間周波数：第一 50.85MHz
第二 2.304MHz
局発振周波数：第一 受信周波数+50.85MHz
第二 48.546MHz
局発周波数変動：±1.5ppm以内
受信感度：-2dBμV(BER=1%)(デジタル)
-8dBμV以下(12dB SINAD)(アナログ)
総合歪及び雑音：20dB以上(1kHz 70% 10μV入力時)
スプリアスレスポンス：53dB以上(BER=1%)(デジタル)
70dB以上(アナログ)
隣接チャンネル選択度：6.25kHz 42dB以上(BER=1%)(デジタル)
20kHz 65dB以上(アナログ)
相互変調特性：53dB以上(BER=1%)(デジタル)
60dB以上(±20kHz、±40kHz)(アナログ)
スケルチ感度：-10dBμV以下
低周波出力：0.7W以上(10%歪時)
低周波出力インピーダンス：16Ω
副次的に発する電波等の強度：4nW以下

オプション

- ◎ 薄型リチウムイオン電池パック： FNB-V86 シリーズ
- ◎ 標準型リチウムイオン電池パック： FNB-V87 シリーズ
- ◎ 大容量リチウムイオン電池パック： FNB-V92 シリーズ
- ◎ 急速充電器： VAC-50A
- ◎ 連結型充電器： CD-51
- ◎ 連結型充電器用 AC アダプター： PA-47A
- ◎ 防水型スピーカーマイク： MH-66A7A
- ◎ GPS マイク： MH-84
- ◎ タイピンマイク&イヤホン： EK-505W
- ◎ 小型タイピンマイク&イヤホン： EK-313-581
- ◎ 咽喉マイク&イヤホン： EM-01-581
- ◎ 小型スピーカーマイク： EK-404-581
- ◎ イヤホンアダプター： EA-581
- ◎ EA-581 用イヤホン： ME-101/100CM
- ◎ アルカリ単3乾電池ケース： FBA-34
- ◎ クイックリリースブラケット： CLIP-17B
- ◎ キャリングケース： LCC-D450

詳細等はカタログ及び八重洲無線株式会社のホームページ <http://www.yaesu.com/jp/> を参照してください。



正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入
いただいた販売店または、下記までご相談ください。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。
詳しくは下記の URL をご覧ください。

販売：八重洲無線株式会社 国内営業部

〒 140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8
天王洲パークサイドビル

電話：03-6711-4055

URL：http://www.yaesu.com/jp/

製造：バーテックススタンダード LMR 合同会社



© 2013-2014 バーテックススタンダード LMR 合同会社
無断転載・複写を禁ず

中国印刷